

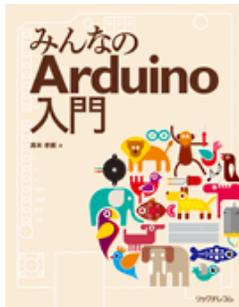
IoTの導入でビジネス効果（売上）を上げたい！IoTシステムの導入コストを抑えたい！ とお考えの経営者様へ

プログラミング初心者でも大丈夫！ センサによる貴重なデータをビジネスに直結できる IoTシステムを作成してみませんか？



講師プロフィール
株式会社タブレイン
代表取締役（工学博士）
高本 孝頼

2012年に起業し、M2M/IoTビジネスを展開。オープンソースハードウェア Arduinoを使ったIoTデバイスの開発を手掛け、多くの実績を蓄積。これまで3Gシールドや3GIMを中心としたIoT向けゲートウェアとしてわかりやすいマニュアルや豊富なサンプルを提供している。最近では、大手通信事業者や大手鉄道会社のIoTデバイス導入コンサルティングを手掛けた実績もある。主な著書に
・みんなのArduino入門・すべてわかるIoT大全2016・IoT技術テキスト～MCPC IoTシステム技術検定対応～など多数



受講者様からの喜びの声

太陽光パネル関連の経営者A様：
アプリ開発は初めてでしたが、この研修を受講して、IoTデバイスを利用したビジネスで経営も右肩上がりです。

ビニールハウス農業経営者B様：
受講前は難しそうで不安でしたが、IoTデバイスの実機操作を通して、理解することができました。今までは「感」でやっていた事をデータを取ることで、効率的に作物の成長につなげる事ができるようになった。

機械メーカー技術者C様：
会社の製品機器に通信を組み込むことを考えていたが、簡単に短時間で構築することができた。

IoTを活用した アプリケーション開発技術 研修

日時：2017年9月6日～7日（2日間） 10：00～17：00

場所：静岡駅前会議室LINK

参加費用：130,000円（税抜、IoT研修キット付き）

80,000円（税抜、IoT研修キットレンタル）

よくある質問

Q：プログラミングの経験はありませんが、IoTのアプリケーションは作成できますか？

A：大丈夫です。サンプルプログラムを利用するので、初心者の方でも作成できます。
また、演習サポートもしっかりと行います。

Q：研修で使用した、IoTデバイスやアプリケーションは持ち帰る事はできますか？

A：IoTデバイス（研修キット）や演習で作成したアプリケーションはお持ち帰る事ができます。USBメモリなど記録媒体をお持ちください。

ご興味のある方は、お気軽にお問合せください。

TERACOM株式会社 054-205-4701 www.teracom.co.jp

セミナーの詳細につきましては裏面をご参照ください

IoTを活用したアプリケーション開発技術 研修

～オープンハードウェアArduinoによる開発期間短縮技術～

■コースの概要

本コースではオープンハードウェアArduinoに3G通信機能を連携拡張することで、各種センサ情報の取得やデータ蓄積を遠隔操作で可能にするIoTアプリケーション構築実現の方法を習得します。3G通信接続機能として、SMSとHTTPの両方を学び、さらにGPS機能や加速度センサなどを使った遠隔自動操作、ワイヤレスセンサネットワークならびにクラウドサービスとの連携などを実際にArduinoで動作させながら習得できます。

■日程 2017年9月6日(水)～7日(木) 2日間 10:00～17:00

■使用機器

Arduino、3G通信ユニット(3GIM+IoTABシールド:3G通信機能・各種センサ付き)

■対象者

IoTを利用してビジネス展開を検討されている方。
センサーデバイスを遠隔操作・制御アプリ制作を考えている方

■前提条件

特になし

■内容

1. センサネットワークと通信技術概要
2. センサ技術と3G通信連携
3. 3G通信基礎
4. 総合実習
 - －センサと3G通信の連携
 - －クラウドサービス連携
5. まとめ
 - －実習の技術的確認・評価



IoT教材キット
V3.0

■IoT研修キット内容物

- ・3GIM V2.1*
(3GおよびGPSフレキアンテナ付き)
 - ・IoTABシールド V3.0*
 - ・3か月プリペイドマイクロSIMカード
 - ・Genuino101 (Arduino互換機)
 - ・AC電源アダプタ (9V1.3A)
 - ・USBケーブル (A-Bタイプ)
 - ・マニュアル* (pdfダウンロードによる)
(500ページ以上の資料とサンプルプログラム)
- * 印はタブレイン(株)オリジナル製品

TA Brain

共同開催
株式会社タブレイン

TERACOM

お問い合わせ／お申し込み
TERACOM株式会社
HP: www.teracom.co.jp
TEL: 054-205-4700

